

令和2年7月豪雨に対する支援活動

2020年（令和2年）7月3日から31日にかけて、日本付近に停滞した前線の影響で、各地で大雨となった。同期間の総降水量は、多いところで2000ミリを超えたところもあり、九州南部北部、東海及び東北の多くの地点で、24、48、72時間降水量が観測史上1位の値を超えた。この結果、65水系202河川で決壊などによる氾濫が発生し、死者82名、行方不明者4名、住宅の全半壊等4,558棟、住宅浸水13,934棟の極めて甚大な被害が広範囲で発生する災害となった。

災害医療ACT研究所は日本財団の支援を受け、7月6日～11日の間、断水や停電により衛生環境の悪化した熊本県の避難所、医療施設に対し、表1のごとく屋内設置型ラップ式トイレ（ラップポン®）を46台設置した。

表1

	設置施設数	設置台数
避難所	4	24
医療施設	3	22
合計	45	46